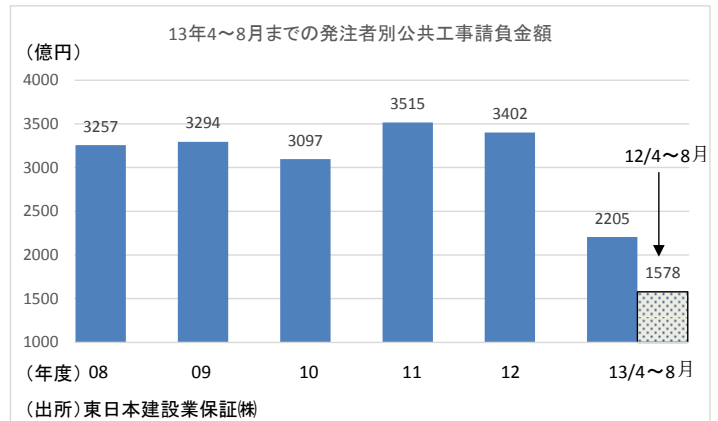


千葉県の公共工事請負額(4~8月累計)は各種プロジェクトの進行や復旧・復興工事の本格化、耐震補強工事等により2,205億円(前年同月比39.7%増)と大幅増加

千葉県の2013年4~8月の公共工事請負額累計額は、2,025億円(前年同期比39.7%増)と大幅増加となった。県内の同請負額は、11年度に3,515億円(10年度比13.5%増)と増加に転じ、12年度も3,402億円(同▲3.2%減)と高水準を維持したあと、13年度4~8月累計では各種プロジェクトの進行や復旧・復興工事の進捗等により前年を大幅に上回る状況が続いている。

—千葉県の最近20年間の公共工事請負額をみると、1992年度の8,530億円をピークに、2010年度まで基調的な減少を続けていた。背景には、長期化する景気低迷から脱却するために国や自治体が多額の公共工事等の財政支出を行った結果財政が悪化したため、01年4月に発足した小泉政権で財政再建を目指し、緊縮予算が続けられたことや、09年度はリーマン・ショック後の景気対策で08年度を若干上回ったものの、09年9月に発足した民主党政権でも「コンクリートから人へ」というキャッチフレーズのもと、基本的には緊縮予算が継続されたことがある。その結果10年度にはピーク比4割以下の水準まで減少した。

11年度以降の公共工事請負額増加要因は、①県内で道路整備等の大型プロジェクトが多数進捗していること、②東日本大震災の被災地での公共土木施設復旧・復興工事の執行が続いていること、③耐震基準値以下の学校や役所などの老朽化した建物の耐震補強工事が増加していること(県内の学校の耐震化進捗率[13年4月1日現在]:81.7%)、などが挙げられる。



13年4~8月にかけて請負金額は上記①~③の要因のいずれもが前年同期比増加しているが、特に独立行政法人等の588億円(前年度比228億円増、同63.3%増)や国の217億円(同118億円増、同2.2倍)が際立って増加している。各種道路や施設などプロジェクト工事が本格化していることに加えて、大型施設工事の新規着工が始まったことも主因として挙げられる。市町村も浦安市で29億円増加(前年度比2.2倍増)するなど全54市町村のうち33市町村で前年度実績を上回り、全体でも891億円と前年度比145億円増加(同19.5%増)した。その他も205億円(同2.7倍)と大幅増加しているが、これは地方公営企業団や日本下水道事業団からの発注増加が主因である。県も297億円(同2.5%増)と、僅かながら前年度を上回った。

現在進行中の公共工事は県内各種プロジェクトや震災関連のものが主で、こうした工事が当面継続することに加えて、「今後、第2の矢にあたるインフラの耐震工事等が顕在化してくることから、県内公共工事請負額の増加基調は続く」(県内建設業関係者)との見方が多い。2020年東京オリンピック開催が決まったが、県内で現在工事中の北千葉道路(工事完了予定時期:2018年)はもとより、圏央道(同:未定)も成田国際空港に直結するだけにオリンピック開催に間に合うよう全線開通することが期待される。(森)

■2013年4~8月までの発注者別公共工事請負額

発注者	公共工事請負金額			13年度主要工事(14年度以降も継続)	今後予定されている工事
	金額	増減額	増減率		
国	217	118	118.4	・外環道路整備工事 ・圏央道整備工事	
県	297	7	2.5	・災害復旧事業(県土整備部) ・北千葉道路、圏央道インターチェンジアクセス道路などの整備事業(〃)	・道路橋梁事業(154億円) ・河川・海岸・砂防事業(74億円) ・医療施設耐震化工事(36億円)
市町村	891	145	19.5	・復旧・復興工事(浦安市など) ・富山小中学校解体・建設工事(南房総市)	・松戸市立病院整備事業 ・八千代市中央図書館整備事業
独立行政法人等	588	228	63.3	・LCC専用ターミナル工事(成田国際空港㈱・13年度新規) ・新外来棟建設工事(千葉大学医学部付属病院)	
地方公社	7	▲1	▲17.1		
その他	205	130	172.2	高度浄水施設建設工事(北千葉広域水道企業団)	
合計	2205	626	39.7		

(出所)東日本建設業保証㈱、13年度主要工事、予定工事についてはばぎん総合研究所調べ
(注)「今後予定されている工事」の県のカッコ内の金額は、13年度6月補正予算額。